

科目名	担当教員名	学期
原価計算特論 Practice in Cost Accounting	門田 隆太郎	後期
目的	企業活動の目的である利益は、売上から原価を差し引くことで計算されるため、企業にとって原価情報は最も重要な情報の一つといえる。例えば製品原価の計算は、損益計算書や貸借対照表の作成や販売価格の決定などにおいて必要不可欠なものであり、また、どのような経営戦略を採っている場合であっても、原価の削減は企業にとって終わることのないテーマともいえる。本講義では、通常の製造業を営む企業を前提として、製品原価の計算や原価管理などに必要な原価情報を、適切かつ正確に測定・提供するための原価計算に関する知識と、それに必要な計算力を修得することを目的とする。	
概要	講義と問題演習を行った上で、それらの内容に関する確認テスト（毎回）および答案練習（60分）を実施する。講義やテキストで内容を理解するだけでなく、その内容について電卓を使用して実際に計算問題を解くことに重点をおく。なお、学習内容が毎回、積み上がっていくため、予習は特に必要ないが、復習は必須。	
到達目標	公認会計士試験の短答式試験に合格するレベルの原価計算の知識と計算力を身に付ける。	
成績評価の基準と方法	演習問題への取り組み状況及び確認テスト（50%）、答案練習及び期末試験（50%）によって判断する。	
履修条件	日商簿記検定2級（工業簿記）程度の知識を有していることが望ましい。	
授業計画		
第1週	原価計算の基礎（2級工業簿記（一部）の復習）	
第2週	費目別計算① / 確認テスト（2級工業簿記）	
第3週	費目別計算②	
第4週	製品別計算①：個別原価計算、部門別計算①：部門別一巡	
第5週	部門別計算②：製造部門費の配賦① / 答案練習①	
第6週	部門別計算③：補助部門費の配賦②	
第7週	製品別計算②：総合原価計算(1) 非度外視法 / 答案練習②	
第8週	製品別計算③：総合原価計算(2) 度外視法・異常仕損	
第9週	製品別計算④：総合原価計算(3) 工程別計算、追加原材料投入	
第10週	標準原価計算①：計算手続・差異分析・勘定記入 / 答案練習③	
第11週	標準原価計算②：原価差異の会計処理 / 答案練習④	
第12週	標準原価計算③：配合歩留差異・原価標準の設定 / 答案練習⑤	
第13週	直接原価計算①：直接実際原価計算①・固定費調整	
第14週	直接原価計算②：直接実際原価計算②・直接標準原価計算	
第15週	活動基準原価計算 / 期末試験	

<p>テキスト 参考書等</p>	<p>【テキスト】 講義時に資料を配付する。</p> <p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『原価計算（第六版）』岡本清著（国元書房、2000年） ・『入門原価計算』清水孝・長谷川恵一・奥村雅史著（中央経済社、2004年） ・『上級原価計算』清水孝著（中央経済社、2011年） ・『合格テキスト 日商簿記1級工業簿記・原価計算』TAC簿記検定講座
<p>その他 特記事項</p>	<p>特になし。</p>